

「人間万事塞翁が馬」

学校長 福島 豊

この4月に二つ橋に着任し、2か月が過ぎました。生徒たちの気持ちの良い挨拶や一生懸命メモを取りながら学ぶ姿勢、本当に素晴らしいと感じています。学校教育目標「働く」「自立」「自己実現」を全員が意識し、日々の学習に取り組んでいる様子がうかがえます。

私は「人間万事塞翁が馬」(にんげんくじんかん)ばんじさいおうがうま」という故事成語を座右の銘にしています。この故事成語の元の話は、中国の古い書物「淮南子(えなんじ)」に書かれています。

中国の北の方に占い上手な老人が住んでいました。さらに北には胡(こ)という異民族が住んでおり、国境には城塞がありました。ある時、その老人の馬が北の胡の国の方角に逃げて行ってしまいました。この辺の北の地方の馬は良い馬が多く、高く売れるので近所の人々は気の毒がって老人をなぐさめに行きました。ところが老人は残念がっている様子もなく言いました。「このことが幸福にならないとも限らないよ。」そしてしばらく経ったある日、逃げ出した馬が胡の良い馬をたくさんつれて帰ってきました。そこで近所の人たちがお祝いを言いに行くと、老人は首を振って言いました。「このことが災いにならないとも限らないよ。」しばらくすると、老人の息子がその馬から落ちて足の骨を折ってしまいました。近所の人たちがかわいそうに思ってなぐさめに行くと、老人は平然と言いました。「このことが幸福にならないとも限らないよ。」1年経ったころ胡の異民族たちが城塞に襲撃してきました。城塞近くの若者はすべて戦いに行きました。そして、何とか胡人から守ることができましたが、その多くはその戦争で死んでしまいました。しかし、老人の息子は足を負傷していたので、戦いに行かずに済み、無事でした。

この故事成語は「人生における幸不幸は予想しがたい」ということです。二つ橋で学ぶ3年間は本当にいろいろなことがあると思います。成功も失敗もその一つひとつがすべて自分の糧になります。さらに、長い人生では楽しい事や嬉しい事もあれば、辛い事や悲しい事もあります。人生の経験で無駄なものなど一つもありません。どのような事が起きても一喜一憂せず、右往左往しないで動じず、自分をしっかり見つめていければと思っています。

保護者、地域・関係機関の皆様、今年度1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

横浜市では、各学校にセクシュアル・ハラスメントに関する担当を置くこととなっています。今年度の校内相談窓口は【副校長】植木直樹【人権・生徒指導担当】森田恵・護摩所正樹、【養護教諭】森田麻季・村井栞です。どうぞお気軽にご相談ください。 TEL：(045) 391-2131

なお、教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

TEL：(045) 671-3726 月～金 9:00～17:00 (年末年始を除く平日)

本校ホームページでも相談窓口について掲載しておりますので、併せてご参照ください。

「横浜市立二つ橋高等特別支援学校 Web サイト」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/futatsubashikoto/>



二つ橋 スクールライフ



○1年生

入学して2か月が経ちました。4月には地域散策に出かけ、他学年と行ったスポーツデイ、そして日々の授業と、本当に慌ただしい毎日でしたが、少しずつ学校生活にも慣れ、友達と楽しそうに話をする姿も見受けられるようになってきました。

職業の時間には、挨拶や報告・連絡・相談の大切さなどを学んでいます。全てが初めてで覚えることもたくさんありますが、今がとても大切な時間です。困ったことやわからないことがあったら、一人で抱え込まず、すぐに相談し、少しでも解決できるようにすることが気持ちの安定にもつながります。そして、周囲の人たちの言葉を素直に聞き、行動に移していくことが成長につながります。

夏休みまであともう少しです！！一日いちにちを大切に過ごしていきましょう。



○2年生

5月の小樽と札幌は、ライラックと桜が満開でした。運河をクルーズする際に感じる風、藻岩山の眺めなど、素敵な北海道を堪能することができました。行こうとしていたカレー屋さんや休みだったり、テレビ塔のてっぺんまで入った写真がなかなか撮れなかったり、全てが全て思い通りではなかったものの、みんなが修学旅行を楽しむことができました。現在は、気持ちを切り替えて前期職場実習に取り組んでいます。働く、自立、自己実現に向けて力を付けて欲しいと願っています。



○3年生

新しい顔ぶれのチームで、16期生の二つ橋での最後の1年を迎えました。2年生の修了式の日から、数日、数週間しか経っていないのにも関わらず、生徒たちの、最高学年としての自覚からか期待や不安を感じつつもいつもよりピシッと背筋ののびた姿勢に、この1年で自分の希望や夢の実現に向かって進もうとしている意気込みを感じました。5月には、延期になっていた北海道への修学旅行があり、多くの思い出を作ることができました。何より生徒たちの成長に感動したのは、修学旅行が終わるとすぐに「現場実習」に心身とも切り替えられていたことです。3年生の教室が並ぶ廊下を歩くと、その空気までもが切り替わったように思えるほどです。また、その間のご家族の皆様健康管理へのご協力に感謝申し上げます。自分たちの未来を描き、その実現に自分で考え自分で行動し、一歩ずつ進んでいってほしいです。私たちも全力で支援していきたいと思っています。たくさん思い出を作りましょう！



○保健室から

夏のように暑い日もあれば雨が降って肌寒く感じる日もあり、気温の変化に対応するのが難しい季節です。暑さに慣れていないときには熱中症に注意が必要です。マスク着用により一層暑く感じるだけでなく、のどが渴いていることに気づきにくくなってしまいます。こまめな水分補給をわすれないようにすること、屋外で人と距離が空けられる場合にはマスクを外すことも必要です。新しい生活様式での熱中症予防についても意識を高めていきましょう。6月に入り、二つ橋では実習に行く生徒も多くなりました。学校は少し静かになったようで寂しくもありますが、ぜひ元気に乗り越えていってほしいと思います。実習期間中の体調管理のためにも日々の健康観察や生活習慣の見直しをこれまで以上に大切にしましょう。